

エイジフレンドリーガイドライン研修会

島根労働局及び各労働基準監督署は、共催により、「高年齢労働者の安全と健康確保のための研修会（益田会場については「エイジフレンドリー職場の実現に向けた労働災害防止研修会）」を開催しました。

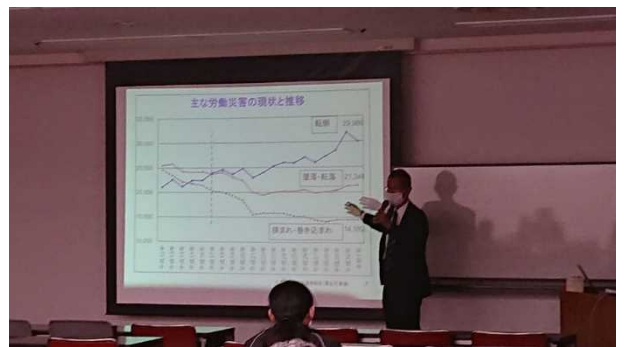
この研修会は、島根労働局管内における60歳以上の労働者に係る労働災害が全体に占める割合が、平成28年以降30%を超え、令和元年は36.7%と全国平均（26.8%）を大きく上回る状況にあり、また、本年3月には、高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）が公表されたことから、このガイドラインを基とした高年齢労働者の特性に応じた有効な労働災害防止対策を事業場に広く周知し、取り組みの活性化を計ることを目的として開催したものです。

当日は、高年齢労働者の労働災害発生状況、働き方改革及び労務管理上の注意点等について、島根労働局及び監督署職員から説明を行ったほか、中央労働災害防止協会中国四国安全衛生サービスセンターの杉田修康所長を招聘し、エイジフレンドリーガイドラインの具体的な内容、取り組み事例を紹介いただくとともに、エイジアクション100のチェックリストの活用方法、転倒等リスク評価セルフチェック票の記入要領と身体機能計測の座位ステップングテストの実測等を行いました。

島根労働局及び各労働基準監督署においては、今後も、様々な機会を通じて、エイジフレンドリーガイドラインの周知等を図ることとしています。



隠岐会場（12月2日開催）



出雲会場（11月27日）



浜田会場（11月17日開催）



益田会場（11月18日）